

# UFC 道路橋床版研究会

## 2023 年度 定時総会

日 時：2023 年 6 月 29 日（木）16:15～16:45

開催場所：【要調整】TKP 心斎橋駅前カンファレンスセンター ホール 11B  
(大阪府大阪市中央区南船場 3-11-18 郵政福祉心斎橋ビル 11 階)  
※オンライン併用

次 第：

第 1 号議案 2022 年度事業報告

第 2 号議案 2022 年度決算

第 3 号議案 新役員の選任

第 4 号議案 新規入会について

第 5 号議案 2023 年度事業計画

第 6 号議案 2023 年度予算

(参考資料)

会則及び細則

役員名簿

会員名簿

技術委員名簿

## 第1号議案

# 2022年度 事業報告

### 総会、幹事会、技術委員会の開催

#### ○総会の開催

- ・日時：2022年6月6日（WEB併用開催）
- ・2021年度の事業報告及び決算報告、2022年度の事業計画及び予算案について審議。役員の選任、特別会員1社及び一般会員1社の入会について承認。

#### ○臨時総会の開催

- ・日時：2022年7月20日（WEB開催）
- ・役員の選任、会則及び細則の改正、特別会員1名、一般会員1社の入会について承認。

#### ○幹事会の開催・2022年度総会議題の審議、研究助成に関する審議、研究会の運営等に関し審議

#### ○技術委員会

- ・第4回  
日時：2022年8月8日（月）14:00～16:30  
場所：阪神高速道路会議室、ウェブ会議併用  
内容：事務局・運営部会、設計部会、施工部会、広報部会の部会構成と、各部会での活動計画を審議
- ・第5回  
日時：2022年12月15日（木）14:00～17:00  
場所：阪神高速先進技術研究所会議室、ウェブ会議併用  
内容：設計部会、施工部会における特定課題（生産性向上）に関する検討状況を確認するとともに技術的な内容を審議。また、「UFC床版の設計・製作・施工・維持管理マニュアル（案）」の更新について審議。

## ○技術セミナー、現場視察等

- UFC 床版コーヒーブレイク#1（広報部会）  
日時：2023年1月13日（金）14:00～15:30  
場所：阪神高速先進技術研究所会議室、ウェブ会議併用  
内容：会員との技術ミーティングとして開催。建設コンサルタントの会員会社の委員以外の方を含む10名の方に参加を頂き、三木先生とUFCの新しい使い方を模索するなど意見交換
- 技術セミナー2023（広報部会、設計部会、施工部会）  
日時：2023年1月26日（木）13:40～17:10  
場所：阪神高速先進技術研究所会議室、LIVE配信  
内容：当日は産学官、各方面から合計300名を超える参加を頂いた。  
二羽会長に開会の御挨拶を頂き、内田委員長をはじめ、設計部会、施工部会、WGの主査が講義。当日のセミナー動画については当研究会HPにて公開中。<https://www.ufcdeck.com/tech2023/>
- 工場見学会（広報部会）  
日時：2023年2月10日（金）6:30～10:00  
場所：富士ピー・エス 三重工場（平板型UFC床版の製作）  
内容：UFC床版の製作状況を視察。内田委員長と会員10名が参加

## ○広報

- ホームページの更新、充実（広報部会）
  - 技術委員会の活動状況等について当研究会の情報を更新
  - 会員限定ページを作成し、総会・幹事会・技術委員会の履歴や活動状況の詳細を掲載 <https://www.ufcdeck.com/members/>  
(アカウント：ufc、パスワード：2022ufcdeck)

## その他 UFC 道路橋床版に係る関連情報

### ○土木学会技術賞（I グループ）受賞

「先進技術の活用による道路橋床版更新の高度化（阪神高速 12 号守口線

床版更新工事への Hydro-Jet RD 工法と平板型 UFC 床版の適用）」

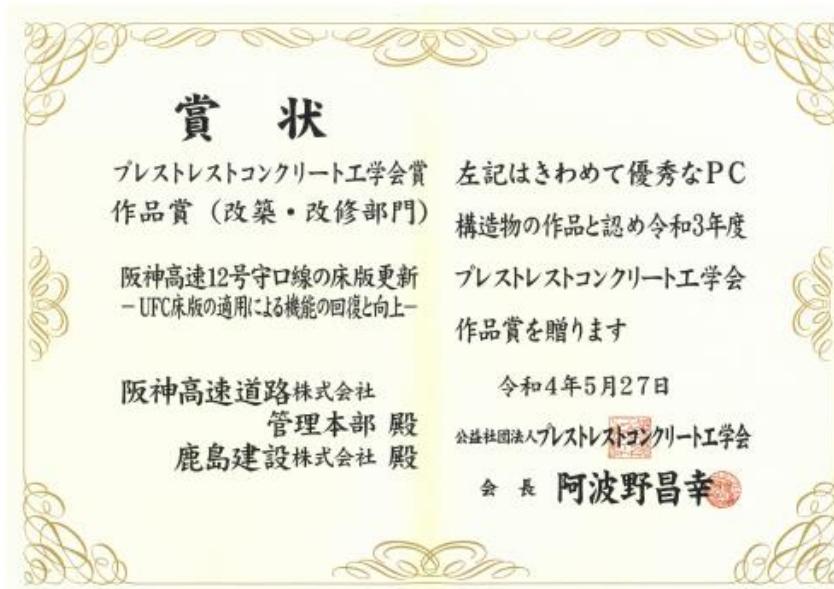
（阪神高速道路（株）、飛島建設（株）、鹿島建設（株））



### ○プレストレストコンクリート工学会 作品賞（改築・改修部門）受賞

「阪神高速 12 号守口線の床版更新 －UFC 床版の適用による機能の回復と向上－」

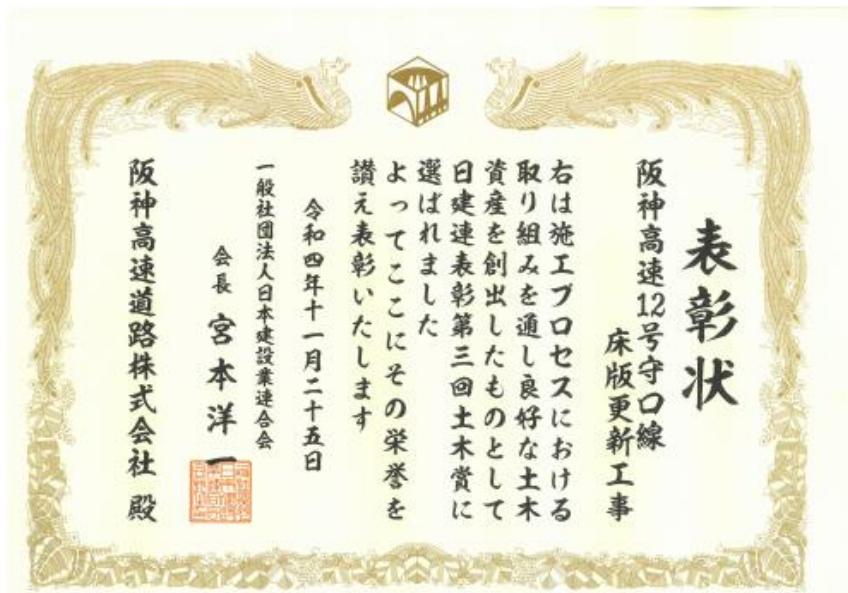
（阪神高速道路（株）、鹿島建設（株））



○日本建設業連合会 日建連表彰 土木賞 受賞

「阪神高速 12 号守口線床版更新工事 一既設床版急速撤去工法と高耐久  
軽量 PCaPC 床版を用いた床版更新技術の高度化」

(阪神高速道路株式会社、鹿島建設株式会社、飛島建設株式会社)



<参考 2023年度活動状況>

○技術委員会

- ・ 第6回

日時：2023年6月7日（水）14:00～17:30

場所：阪神高速先進技術研究所会議室、ウェブ会議併用

内容：設計部会、施工部会における特定課題（生産性向上）に関する  
検討状況を確認するとともに技術的な内容を審議

○現場視察等

- ・ 現場見学会（広報部会）

日時：2023年5月25日（木）13:00～15:00

場所：神戸線リニューアル工事現場（平板型 UFC 床版の施工）

内容：UFC 床版の施工状況を視察。二羽会長、内田技術委員会委員長、  
三木技術委員会委員と会員が参加。

第2号議案

2022年度決算（案）

(1) 収 入

(単位：円)

項目	予 算	決 算	備 考
入会金	200,000	400,000	2団体
年会費	3,000,000	3,100,000	一般会員 29団体、賛助会員 4 団体
利息	-	95	
前年度繰越金	9,701,570	9,701,570	
合 計	12,901,570	13,201,665	

(2) 支 出

(単位：円)

項目	予 算	決 算	備 考
総会	200,000	358,208	定時総会1回 臨時総会1回
技術委員会	300,000	170,180	技術委員会2回
手引き作成	50,000	0	
広報費	1,000,000	0	
現場視察等	1,000,000	591,867	現場見学会3回、技術ミーティング1回、技術セミナー1回
研究助成等	1,000,000	1,000,000	助成対象1件
特定課題検討	5,000,000	1,980,000	概略設計比較検討
諸雑費	20,000	19,837	残高証明書発行手数料、印紙・切手代・振込手数料等
事務局運営費	1,400,000	1,382,093	会則第21条の事務
予備費	2,931,570	7,699,480	次年度繰越金
合 計	12,901,570	13,201,665	

(参考)

### 繰越金の推移について

(単位:万円)

	2017年度 (設立年度)	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
入会金・年会費等	735	290	320	280	310	350
前年度繰越	0	528	612	729	914	970
収入合計	735	818	932	1,009	1,224	1,320
支出	207	206	203	95	254	550
予備費（次年度繰越）	528	612	729	914	970	770



当研究会の2022年度決算において、約770万円の予備費（次年度繰越）が残存している状況にある。

2023年度において、引き続き、UFC道路橋床版の技術の発展のため、技術的検討や研究者への助成の実施を通じた会員への還元、広報活動によるUFC道路橋床版技術の普及等、効果的な予算の活用を検討する。

## 監査報告書

2023年4月10日

UFC道路橋床版研究会  
会長 二羽 淳一郎 殿

会計監事  
株式会社 オリエンタルコンサルタンツ  
関西支店 総合技術部 構造グループ  
西川 啓二 

2022年度 UFC道路橋床版研究会の出納について、事務局である（一財）阪神高速先進技術研究所との契約書・入会者名簿に基づく入会金・年会費の入金確認、支出関係資料（伝票、領収書等）の監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

2022年8月1日の委託契約書に基づき、UFC道路橋床版研究会名義の通帳による入金記録（一般会員29団体・賛助会員4団体）、出金記録・事務局の立替金・事務局経費の書類の監査を実施いたしました。

### 2. 監査の結果

入金記録、出金記録、事務局の立替金、事務局経費は適正に管理されているものと認めます。

以上

# 監査報告書

2023年4月11日

UFC道路橋床版研究会  
会長 二羽 淳一郎 殿

会計監事  
清水建設株式会社  
関西支店営業部  
皿 海 章 雄  


2022年度 UFC道路橋床版研究会の出納について、事務局である（一財）阪神高速先進技術研究所との契約書・入会者名簿に基づく入会金・年会費の入金確認、支出関係資料（伝票、領収書等）の監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

2022年8月1日の委託契約書に基づき、UFC道路橋床版研究会名義の通帳による入金記録（一般会員29団体・賛助会員4団体）、出金記録・事務局の立替金・事務局経費の書類の監査を実施いたしました。

## 2. 監査の結果

入金記録、出金記録、事務局の立替金、事務局経費は適正に管理されているものと認めます。

以上

第3号議案

## 新役員の選任

### 新役員候補者

役職	氏名	所属先
会長	二羽 淳一郎	東京工業大学 名誉教授

幹事長	三木 朋広	神戸大学 准教授
幹事	太田 和宏	(株)IHI インフラ建設 取締役 営業本部長
	齋藤 公生	鹿島建設(株) 関西支店 土木部 担当部長
	丹羽 信弘	中央復建コンサルタンツ(株) 構造系部門 技師長
	友田 富雄	日本工営(株) コンサルティング事業統括本部 執行役員 エグゼクティブエンジニア
	谷田 豊	阪神高速道路(株) 技術部長
	八木 洋介	(株)富士ピー・エス 執行役員 副事業推進部長 兼 新規事業開発グループリーダー
	室田 敬	三井住友建設(株) 執行役員 大阪支店 副支店長

事務局長	大石 秀雄	(一財)阪神高速先進技術研究所 調査研究部 調査役
------	-------	---------------------------

会計監事	西川 啓二	(株)オリエンタルコンサルタンツ 関西支店 総合技術部構造G
	皿海 章雄	清水建設(株) 関西支店 土木営業部

### <参考>研究会会則

#### 第11条 本研究会に次の役員を置く

- (1) 会長 1名
- (2) 幹事長 1名
- (3) 幹事 若干名
- (4) 事務局長 1名
- (5) 会計監事 1名

#### 第14条

役員の任期は、就任の日から2年後の総会までとする。ただし、再任を妨げない。

## 第4号議案

# 会員入会の承認

会則第5条(1)及び(2)の規定に基づく入会申し出のあった以下の法人に対し、会則第5条(3)の規定に基づき、新規での会員入会を提案します。

## 賛助会員

会員名	代表者
東京製綱インターナショナル株式会社	代表取締役社長 森 忠大

## <参考>研究会会則

第4条 本研究会の会員は、次の区分によって構成される。なお、会員の区分が明確でない場合には総会にて決定する。

- (1) 特別会員：国、自治体、公社、高速道路会社、財団法人であり、本研究会の目的及び事業に賛同し、総会により入会が認められた団体。
- (2) 一般会員：本技術に関する設計、製作、施工及び維持管理などの業務を行う法人であり、本研究会の目的及び事業に賛同し、総会により入会が認められた法人。
- (3) 賛助会員：本技術に係わる材料の製造又は供給に携わる法人で、本研究会の目的及び事業に賛同し、総会により入会が認められた法人。

第5条 本研究会への入会を希望する法人は、次の手続きをしなければならない。

- (1) 特別会員に該当する団体及び法人は、入会申込書及び特別会員又是一般会員からの推薦状を第21条に規定する事務局に提出するものとする。
- (2) 一般会員及び賛助会員に該当する法人は、入会申込書、入会希望理由書及び特別会員又是一般会員からの推薦状を第21条に規定する事務局に提出するものとする。
- (3) 特別会員の入会は総会の承認、一般会員の入会は、幹事会の確認の上、総会の承認を得て決定する

(東京製綱インターナショナル株式会社 入会申込書)

UFC 道路橋床版研究会 会長殿

UFC 道路橋床版研究会 入会申込書

[ 特別会員、一般会員、賛助会員 ] (いづれかを○で囲む)

UFC 道路橋床版研究会の趣旨に賛同し、添付資料を添えて入会を申し込みます。  
なお、入会後は、関係法令及び貴会の会則並びに諸規程を遵守し、その規定に従うことと  
誓約いたします。

2023年 3月 15日

団体(法人)名

東京製綱インターナショナル株式会社



団体(法人)代表者役職・氏名

代表取締役社長 森 忠大

団体(法人)住所 〒135-8306

東京都江東区永代 2-37-28 潤澤シティプレイス永代 5F

代表電話番号：03-6366-7701

ホームページ URL : https://tokyorope-intl.co.jp/

【研究会との連絡窓口担当者】

所属部署 : 営業企画部

役職・氏名 : 部長 梶本 剛

住 所 〒135-8306

東京都江東区永代 2-37-28 潤澤シティプレイス永代 5F

電話番号 : 080-2337-9849

E-mail : enomoto.tsuyoshi@tokyorope.jp

【添付資料】 会社案内(事業案内)

(東京製綱インターナショナル株式会社 入会希望理由書)

## UFC 道路橋床版研究会

### 入会希望理由書

以下の理由により、UFC 道路橋床版研究会への入会を希望します。

#### <希望理由>

弊社は炭素繊維複合材ケーブル CFCC®(燃り線状の CFRP)を製造販売するメーカーです。CFCC®は耐食性・強度・弹性・耐疲労性等に優れ、PC 構造物に補強材として使用できます。米国では 2018 年に AASHTO においてガイドライン「CFRP を緊張材として橋梁に用いる設計指針」が制定され、また 2020 年には同国最大級のインフラプロジェクトであるハンプトンロードブリッジトンネル拡張事業(施主: バージニア州)に採用され、更なる普及拡大が期待されています。

弊社は CFCC®を米国のみならず、日本においても普及させて「我が国の安心・安全なインフラ構築に貢献する」ことを目指しております。

UFC 道路橋床版研究会へ賛助会員として入会させていただき「UFC 道路橋床版についての知見を得るとともに、補強材としての CFCC®の活用の可能性を追求したい」という観点から、貴会への入会を希望する次第です。

2023 年 3 月 15 日

会社名 東京製綱インターナショナル株式会社

氏 名 代表取締役社長 森 忠大



(東京製綱インターナショナル株式会社 推薦状)

2023年3月14日

UFC 道路橋床版研究会  
事務局長 殿

推 薦 状

下記会社を UFC 道路橋床版研究会の入会を推薦いたします。

記

会社名 東京製綱インターナショナル株式会社  
所在地 東京都江東区永代 2-37-28  
電話番号 03-6366-7701  
代表者 森 忠大  
代表者役職 代表取締役社長

推薦会社

会員会社名 阪神高速道路株式会社  
(推薦者)技術部長 谷田 豊

530-0006 大阪市北区中之島 3-2-4

TEL 06-6203-8888

yutaka-tanida@hanshin-exp.co.jp

以 上

## 第5号議案

# 2023年度事業計画

UFC床版の道路橋への適用状況を踏まえ、設計・施工等に係る技術的知見の情報収集を継続的に実施するとともに、当該技術情報の会員への還元等に向けた施策に積極的に取り組む。さらに、各種広報手段等を活用した本研究会の魅力向上やUFC床版の道路橋への適用技術の普及促進に努め、本研究会の発展に資する施策に着実に取り組む。

1. 「UFC床版の設計・製作・施工・維持管理マニュアル(案)」の更新  
「UFC床版の設計・製作・施工・維持管理マニュアル(案)」に関し、実橋での試験適用で得られた新たな技術的知見の反映し更新する。
2. UFC床版の実際の適用現場における見学会等の開催  
本研究会会員を対象とした、UFC床版の道路橋への適用現場等の視察・見学会を開催、ならびに既に試験適用された箇所での技術情報についての勉強会等を企画、開催する。
3. UFC床版の普及、展開に関わる技術PR、対外発表などの広報活動、及び関連技術情報の収集
  - ・協会、学会等が主催するシンポジウム等での情報発信・収集、及び雑誌・新聞等における研究会活動のPRを実施。さらに研究会ホームページの技術情報等のコンテンツを充実する。
  - ・PR動画および当研究会のノベルティグッズを作成し、展示会に出展。幅広い技術者向けに、UFC床版や研究会活動のPRを実施する。
  - ・本技術の普及・展開、情報発信、情報交換を目的として、本研究会主催のセミナー、技術ミーティングを開催する。
4. 本技術の発展に関わる研究助成の実施
  - ・UFC床版の品質向上、品質保証等に関する研究、海外での事例調査等、本技術の発展に関わる研究等に対し助成を行う。
  - ・応募対象について、本研究会関係者のか、UFCに関わる技術に関する研究に従事する大学又は高等専門学校における研究者に拡充する。
5. 幹事会、技術委員会の開催  
幹事会については必要に応じ適宜開催する。

技術委員会・設計部会、施工部会において、本技術の普及のための特定課題（生産性向上）を継続検討し、必要に応じて技術委員会を開催し技術的課題を解決するための審議を行う。

#### 2023年度 年間スケジュール

2023年4月	
2023年5月	現場見学会（阪神高速 神戸線）
2023年6月	技術委員会 第6回 2023年度 定時総会
2023年7月	技術ミーティング（UFC床版コーヒーブレイク）
2023年8月	
2023年9月	技術委員会 第7回
2023年10月	
2023年11月	建設技術展 2023 近畿へ出展（予定）
2023年12月	技術委員会 第8回
2024年1月	UFC床版 技術セミナー2024
2024年2月	
2024年3月	

第6号議案

2023年度予算（案）

(1) 収 入

(単位：円)

項 目	予 算	備 考
入会金	100,000	1団体（賛助会員）
年会費	3,050,000	一般会員 28団体、賛助会員 5 団体
前年度繰越金	7,699,480	
合 計	10,849,480	

(2) 支 出

(単位：円)

項 目	予 算	備 考
総会	350,000	定時総会 1回
技術委員会	300,000	技術委員会 3回
手引き作成	100,000	印刷代
広報費	2,000,000	技術展示、雑誌・新聞への広告掲載、PR動画・パンフレット・ノベルティグッズ作成
現場視察等	270,000	現場見学会1回、技術ミーティング3回、技術セミナー1回
研究助成等	1,000,000	本技術の発展に係る研究への助成
特定課題検討	3,000,000	特定課題（生産性向上）に関する検討費用 ・UFC床版合成桁の最適構造の検討（約170万円） ・標準適用支間長の検討（約50万円） ・UFCの材料検討（約80万円）
諸雑費	20,000	
事務局運営費	1,500,000	会則第21条の事務
予備費	2,309,480	次年度繰越金
合 計	10,849,480	

参考資料

会則及び細則  
役員名簿  
会員名簿  
技術委員会名簿

UFC 道路橋床版研究会

## UFC 道路橋床版研究会会則

### 第 1 章 総 則

#### (名称)

第 1 条 本会は、UFC 道路橋床版研究会（以下、「本研究会」という）と称する。

#### (目的)

第 2 条 本研究会は、公益社団法人土木学会等の公的機関から技術評価を受けている超高強度繊維補強コンクリート（UFC）を用いた道路橋床版の設計、製作、施工及び維持管理に関わる技術（以下、「本技術」という）の向上、ならびに普及を通じて社会に貢献することを目的とする。

#### (事業)

第 3 条 本研究会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 本技術の品質確保に関する技術評価、品質管理、技術指導、技術課題の解決。
- (2) 本技術の改善・改良、新しい構造の研究・開発。
- (3) 本技術に関するマニュアルなどの技術資料の整備、展開。
- (4) 本技術の普及・展開に関する技術 PR、対外発表などの広報活動、及び関連技術情報の収集。
- (5) その他、本研究会の目的を達成するために必要な事項。

### 第 2 章 会 員

#### (会員)

第 4 条 本研究会の会員は、次の区分によって構成される。なお、会員の区分が明確でない場合には総会にて決定する。

- (1) 特別会員：国、自治体、公社、高速道路会社、財団法人及び本技術に関する有識者であり、本研究会の目的及び事業に賛同し、総会により入会が認められた団体又は個人。
- (2) 一般会員：本技術に関する設計、製作、施工及び維持管理などの業務を行う法人であり、本研究会の目的及び事業に賛同し、総会により入会が認められた法人。
- (3) 賛助会員：本技術に係わる材料の製造又は供給に携わる法人で、本研究会の目的及び事業に賛同し、総会により入会が認められた法人。

#### (入会)

第 5 条 本研究会への入会を希望する法人又は個人は、次の手続きをしなければならない。

- (1) 特別会員に該当する団体又は個人は、入会申込書及び特別会員又は一般会員からの推薦状を第 21 条に規定する事務局に提出するものとする。
- (2) 一般会員及び賛助会員に該当する法人は、入会申込書、入会希望理由書及び特別会員又は一般会員からの推薦状を第 21 条に規定する事務局に提出するものとする。

(3) 特別会員の入会は総会の承認、一般会員の入会は、幹事会の確認の上、総会の承認を得て決定する。

(4) 研究会設立時の各会員については推薦状を不要とし、設立総会にて入会を承認する。

#### (会員の義務)

第6条 会員は、次の義務を負う。

(1) 本会則を順守し、第3条の本研究会の事業の推進に努めるものとする。

(2) 本研究会の活動を通じて知り得た秘密にすべき技術情報等を会員以外の第三者に開示してはならない。

(3) 一般会員は、本技術の実施時に本研究会より技術指導を受けなければならない。

(4) 一般会員は、毎年四月に前年度の本技術の適用実績を事務局に報告する。

#### (会員の権利)

第7条 会員は、以下の権利を有する。

(1) 本技術の実施等に関わる技術情報等の入手

#### (会員資格の喪失)

第8条 会員は次の各号の一に該当する場合は、その資格を失う。

(1) 退会

(2) 除名

2 会員資格を喪失したものは、前条に規定する会員としての一切の権利を失い、本研究会が有する財産に対してなんらの請求をすることができない。

3 本研究会の活動を通じて知り得た技術情報などのうち秘密にすべき事項については、会員資格の喪失後においても第三者に開示してはならない。

#### (退会)

第9条 会員が本研究会を退会しようとするときは、理由を付した退会届を30日以上の予告期間をおいて会長に提出しなければならない。

#### (除名)

第10条 本研究会は会員が次の各号の一に該当するときは、総会の議決を得てこれを除名することができる。

(1) 本研究会の目的若しくは事業を妨げる行為をしたとき。

(2) その他、本研究会の会員としての義務を怠ったとき。

## 第3章 役 員

#### (役員)

第11条 本研究会に次の役員を置く。

(1) 会長 1名

(2) 幹事長 1名

(3) 幹事 若干名

(4) 事務局長 1名

(5) 会計監事 2名

#### (役員の選任)

第12条 幹事は、第4条に定める特別会員及び一般会員の互選による。

- 2 会長は、幹事会が推薦し総会にて承認する。
- 3 幹事長は、幹事の互選による。
- 4 事務局長、会計監事は、総会の承認を得て会長が委嘱する。幹事長と事務局長は、重複を妨げない。
- 5 本条第1項及び本条第3項に規定する役員に関するうち、任期中に退任した役員の補欠者については、幹事会からの推薦を受け、会長が指名する。

(役員の職務)

第13条 役員の職務は次のとおりとする。

- (1) 会長は本研究会を代表し、会務を統括するとともに総会の議長となる。
- (2) 幹事長は幹事会を統括するとともに、会長を補佐し、会長に事故がある時その職務を代行する。
- (3) 幹事は幹事会を構成し、会務の執行に当たる。
- (4) 事務局長は事務局を代表し、職務の執行に当たる。
- (5) 会計監事は本研究会の収支決算の監査を行う。

(役員の任期)

第14条 役員の任期は、就任の日から2年後の総会までとする。ただし、再任を妨げない。

2 任期途中で交代した役員の任期は、前任者の任期満了の日までとする。

(役員の解任)

第15条 役員に本研究会の役員としてふさわしくない行為があったときは、総会の議決により、これを解任することができる。

## 第4章 会議

(会議)

第16条 本研究会は総会を置く。

2 委員会などを設置する場合は、別に定める。

(総会)

第17条 総会は、特別会員及び一般会員をもって構成する。

2 総会は、定時総会と臨時総会とする。

(1) 定時総会は、毎年度期のはじめの適切な時期に開催する。

(2) 臨時総会は、会長が必要と認めた場合に開催する。

3 総会は会長が召集し、その議長を務める。

4 全ての特別会員及び一般会員の書面又は電磁記録の提出により、総会の審議を行うことができる。

(総会の審議事項)

第18条 総会は次の事項を審議する。

- (1) 第3条に定める事業の計画、予算及び決算
- (2) 本会則及び細則の改廃

- (3) 会員の入会・除名
- (4) 役員等の承認
- (5) 委員会等の設置又は廃止
- (6) 本研究会の解散
- (7) その他、会長が必要と認める事項

(総会の議決権)

第 19 条 全ての特別会員と一般会員は総会において各 1 個の議決権を有する。

2 議決権の行使はこれを委任することができる。

(総会の議決)

第 20 条 総会は全会員の三分の二以上の出席（委任状提出者を含む）により開催することができる。

2 総会の議決は出席会員（委任状提出者を含む）の過半数の同意による。可・否同数のときは議長がこれを決する。

## 第 5 章 事務局

(事務局)

第 21 条 本研究会は、以下の事務を執行するため事務局を置く。

- (1) 入会の受付
- (2) 会議開催に関する連絡・事務
- (3) 本技術の実績の把握
- (4) 技術資料等の管理
- (5) 会計処理
- (6) その他、必要な事項

2 事務の執行に必要な経費については、本研究会から事務局に支払う。

## 第 6 章 会 費

(会費)

第 22 条 本研究会の運営資金は、入会金、年会費をもって賄うものとする。ただし、総会の議決により必要があるとされた場合は、臨時会費を徴収することができる。

2 会員は、別途細則に定める入会金及び年会費を納入する。

3 入会金、会費は、いかなる事由によっても返却しない。

(会計)

第 23 条 会長は、会計年度毎に収支予算書を作成し、定期総会で承認を得ることとする。

2 会長は、会計年度毎に決算書を作成し、会計監事の監査を受けるとともに、定期総会で承認を得る。

3 本研究会の会計年度は、4月1日から翌年の3月31日までとする。

## 第 7 章 知的財産

(知的財産の取扱い)

第 24 条 本研究会が行う事業において会員が共同で発明を行ったときは、当該特許権等は発明に関係した会員の共有とする。共有に係る特許権等の取り扱いは、当該会員が協議の上、定めるものとする。

- 2 前項の共有に係る特許権等について共同で出願等を行うときは、持ち分及び実施条件等を協議のうえ、共同出願契約を締結するものとする。
- 3 前二項の規定は本研究会において生じた発明等に係る知的財産権（特許権及び著作権を除く。）の取扱いに準用する。なお、著作権の取扱いは第 25 条の規定による。

**(関連著作物の取扱い)**

第 25 条 本研究会の成果として著作物（プログラムの著作物を含む。以下本条において同じ。）が得られた場合は、当該著作物の著作権の帰属及び実施（プログラムの著作物をコンピュータで使用する行為を含む。）その他の取扱いは、当該著作物を創作した会員が別途協議の上、書面により定めるものとする。

**(成果の公表)**

第 26 条 会員は、本研究会の事業の成果を第三者に公表しようとするときは、事前に文書又は電磁的記録により、全会員の同意を得るものとする。ただし、既に公知の場合はこの限りではない。

- 2 前項の義務は、会員が本研究会を退会した後も引き続き存続するものとする。

**第 8 章 その他**

**(解散)**

第 27 条 本研究会は、総会において会員の三分の二以上の同意をもって解散することができる。

- 2 解散した場合における残余財産の取扱いについては解散時の総会において審議するものとする。

**(協議)**

第 28 条 本会則に定めなき事項、運用において疑義が生じた事項については、総会の議決をもって解決する。

**(施行)**

第 29 条 本会則は、平成 29 年 5 月 30 日から施行する。

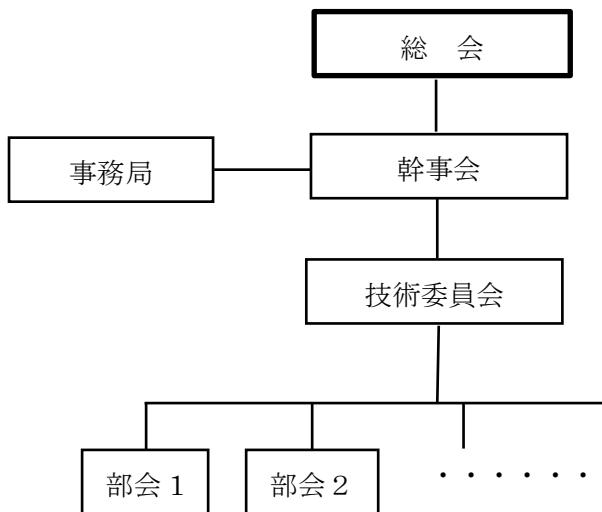
**附則**

本会則は、令和 4 年 7 月 20 日から施行する。

## UFC 道路橋床版研究会細則

### (組織)

第 1 条 本研究会の組織を以下のとおりとする。



2 技術委員会のもとに、部会を設けることができる。

第 2 条 幹事会は、次の事項を審議する。

- (1) 総会で決議する議案などに関する事項。
- (2) その他、本研究会の運営に関する事項。

第 3 条 技術委員会は、次の事業を行う。

- (1) 本技術の品質確保に関わる技術評価、品質管理、技術指導、技術課題の解決。
- (2) 本技術の改善・改良、新しい構造の研究・開発。
- (3) 本技術に関わる設計・施工・維持管理に関するマニュアルなどの技術資料の整備、展開。
- (4) 本技術の普及・展開に関わる技術 PR、対外発表、及び関連技術情報の収集。
- (5) その他、本技術に関する事項。

第 4 条 技術委員会の委員は、会員に所属する者もしくは、本技術に関する有識者のうち、会長が委嘱した者とする。

- 2 委員の任期は 2 年とする。ただし、再任は妨げない。
- 3 会長は、委員が解嘱を申し出たとき、その他委員として適当でないと認めるときは、その委員を解嘱するものとする。

第 5 条 各委員会には委員長を置く。

- 2 委員長は委員の中から会長が指名し委嘱する。

(会費等)

第6条 会員は、会則第22条に定める入会金及び年会費は次のとおりとする。

	入会金	年会費
特別会員	0円	0円
一般会員	200,000円	100,000円
賛助会員	100,000円	50,000円

(謝金等)

第7条 総会、委員会に出席した有識者委員には、次表に基づき謝金（日当及び近距離交通費を含む）を支払う。

	謝金
会長	30,000円
技術委員長	20,000円
委員	20,000円

2 支払いに際しては、所定の税務処理を行う。

(旅費等)

第8条 総会、委員会に出席した有識者委員には、次表に基づき旅費を支払う。

	旅 費
近距離交通費	2,000円（ただし、謝金に含む）
2,000円を超える場合	実 費
宿泊を伴う場合	実 費

2 支払いに際しては、所定の税務処理を行う。

(その他)

第9条 本細則は、総会において承認を得た場合に改廃できるものとする。

第10条 本細則に定めなき事項、運用において疑義が生じた事項については、総会の決議を得て解決する。

第11条 本細則は、平成29年5月30日から施行する。

附則

本細則は、令和4年7月20日から施行する。

## UFC道路橋床版研究会 役員

役職	氏 名	所 属 先
会 長	二羽 淳一郎	東京工業大学 名誉教授
幹事長	三木 朋広	神戸大学 准教授
幹 事	太田 和宏	(株)IHIインフラ建設 取締役 営業本部長
	齋藤 公生	鹿島建設(株) 土木部 担当部長
	丹羽 信弘	中央復建コンサルタンツ(株) 構造系部門 技師長
	友田 富雄	日本工営(株) コンサルティング事業統括本部 執行役員 エグゼクティブエンジニア
	谷田 豊	阪神高速道路(株) 技術部長
	八木 洋介	(株)富士ピー・エス 執行役員 副事業推進部長 兼 新規事業開発グループリーダー
	室田 敬	三井住友建設(株)執行役員 大阪支店 副支店長
事務局長	大石 秀雄	(一財) 阪神高速先進技術研究所 調査役
会計監事	西川 啓二	(株)オリエンタルコンサルタンツ 関西支店 総合技術部 構造G
	皿海 章雄	清水建設(株) 関西支店 土木営業部

## UFC道路橋床版研究会 会員

### 特別会員

会員名	代表者	
	部署・役職	氏名
西日本高速道路(株)	代表取締役社長	前川 秀和
(一財)阪神高速先進技術研究所	理事長	西岡 敬治
阪神高速道路(株)	代表取締役社長	吉田 光市
三木 朋広	※個人会員のため省略	

### 一般会員

(建設コンサルタント等)

会員名	代表者	
	部署・役職	氏名
(株)オリエンタルコンサルタンツ	代表取締役社長	野崎 秀則
(株)建設技術研究所	代表取締役社長	中村 哲己
(株)綜合技術コンサルタント	常務取締役大阪支社長	宋 華文
大日本コンサルタント(株)	大阪支社長	大貝 和也
中央コンサルタンツ(株)	執行役員支店長	木津 敦弥
中央復建コンサルタンツ(株)	代表取締役社長	兼塚 卓也
(株)長大	構造事業本部 第2構造事業部長	西村 一朗
日本工営(株)	交通運輸事業本部 事業本部長	山手 弘之
(株)日本構造橋梁研究所	代表取締役社長	前田 晴人
パシフィックコンサルタンツ(株)	交通基盤事業本部 構造技術部長	山口 恒太
阪神高速技研(株)	代表取締役社長	川北 司郎
阪神高速技術(株)	代表取締役社長	立石 泰三

## (建設会社)

(株)IHIインフラ建設	取締役 営業本部長	太田 和宏
(株)IHIインフラシステム	代表取締役社長	上田 和哉
エム・エムブリッジ(株)	取締役社長	池浦 正裕
オリエンタル白石(株)	営業本部 営業部 部長	武田 祐二
鹿島建設(株)	代表取締役副社長 土木管理本部長	茅野 正恭
カジマ・リノベイト(株)	施工本部 技師長	大塚 一雄
清水建設(株)	土木技術本部長	中満 光広
昭和コンクリート工業(株)	取締役 技術工事本部本部長	森 宏行
大成建設(株)	常務執行役員 土木本部長	白川 賢志
東洋建設(株)	取締役専務執行役員 土木事業本部長	大林 東壽
ドーピー建設工業(株)	代表取締役	稻田 義行
(株)富士ピー・エス	代表取締役社長	堤 忠彦
三井住友建設(株)	常務執行役員土木本部副本部長	平 喜彦

## (製造会社)

(株)技建	代表取締役社長	津波古 健二
ケイコン(株)	代表取締役社長	荒川 崇
日本コンクリート工業(株)	代表取締役社長	塚本 博

## 賛助会員

会員名	代表者	
	部署・役職	氏名
(株)北川鉄工所	取締役執行役員 東京支店支店長	藤本 一
GCPケミカルズ(株)	代表取締役	関口 忠男
住友電気工業(株)	執行役員 特殊線事業部長	雜賀 和彦
デンカ(株)	代表取締役社長	山本 学

(敬称略)

## UFC道路橋床版研究会 技術委員会

役 職	所 属 先	氏 名
委員長	岐阜大学 教授	内田 裕市
有識者	神戸大学 准教授	三木 朋広
	埼玉大学 教授	奥井 義昭
特別 会員	西日本高速道路㈱ 技術本部 技術環境部 構造技術課長	大城 壮司
	(一財)阪神高速先進技術研究所 調査役	大石 秀雄
	阪神高速道路㈱ 技術部 テクニカルエキスパート	小坂 崇
	(株)オリエンタルコンサルタンツ 関西支社構造部 次長	西川 啓二
	(株)建設技術研究所 大阪本社構造部 次長	光川 直宏
	(株)総合技術コンサルタント 大阪支社構造II部 次長	渡邊 裕規
	大日本コンサルタント(株) 大阪支社技術部長	佐藤 秀雄
	中央コンサルタント(株) 大阪支店 設計1部3課 課長	井原 貴浩
	中央復建コンサルタント(株) 構造系部門 技師長	丹羽 信弘
	(株)長大 構造事業本部 副技師長	館 浩司
建設 コン サ ル タ ン ト 等	日本工営(株) 大阪支店 交通都市部 次長	仲村 賢一
	(株)日本構造橋梁研究所 大阪支社 設計部 課長	池田 良介
	パシフィックコンサルタンツ(株) 交通基盤事業本部 構造技術部 橋梁第二室 技術課長	岩城 達思
	阪神高速技術研(株) 技術部 設計課長	堀岡 良則
	阪神高速技術(株) 技術部長	深川 季秋
	(株)IHIインフラ建設 開発部	高木 祐介
	(株)IHIインフラシステム 事業戦略本部 プロポーザル部 部長	宮地 崇
	エム・エムブリッジ(株) 生産・技術部 保全・エンジニアリンググループ 主席	前川 勉
	オリエンタル白石(株) 本社技術本部 技術研究所 主任研究員	俵 道和
	鹿島建設(株) 技術研究所 担当部長	一宮 利通
委 員 会 員	鹿島建設(株) 土木部 担当部長	齋藤 公生
	カジマ・リノベイト(株) 西日本支店 支店長	金子 光宏
	清水建設(株) 土木技術本部 橋梁統括部 主査	崎山 郁夫
	昭和コンクリート工業(株) 技術工事本部 PC技術部 PC技術三課 課長	柴田 和典
	大成建設(株) 土木本部 土木技術部 橋梁技術室 次長	大島 邦裕
	東洋建設(株) 美浦研究所 (材料研究室)主任研究員	森田 浩史
	ドーピー建設工業(株) 技術部 課長	長谷川 剛
	(株)富士ピー・エス 技術センター エンジニアリンググループ サブリーダー	山口 光俊
	三井住友建設(株) 大阪支店土木部技術グループ部長代理	鍋谷 佳克
	(株)技建 設計室長	宮野 伸介
製 造 会 社	ケイコン(株) 製品事業部 技術部 設計グループ 課長	松崎 進
	日本コンクリート工業(株) 技術開発部 土木・建材グループ 課長	山岸 健治
	(株)北川鉄工所 サンテックカンパニー プラント統括部 技術課 係長	亀田 尚明
贊 助 会 員	GCPケミカルズ(株) 技術部 課長代理	澤田 誠一
	住友電気工業(株) 特殊線事業部 PC技術部長	松原 喜之
	デンカ(株) 青海インフラ技術研究部	前田 拓海
		(敬称略)